

令和7年1月31日発行



# 五小だより

学校だより 2月号  
東久留米市立第五小学校  
校長 古矢 美雪

学校創立 60 周年記念  
2月の「けやすけ」

## 地域の皆様 ありがとうございます

---60周年の年の道徳授業地区公開講座---

校長 古矢 美雪

先週の土曜日の学校公開には、多くの保護者・地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。今回は、3・4校時に全学級、道徳授業地区公開講座を行いました。3校時は、テーマを「愛校心」「地域愛」として教材文を読みながら学年の発達段階に応じて道徳の授業をしました。4校時は地域の皆様がゲストティーチャーとしてお招きしてお話を伺いながら、五小や周りの地域のことを深く知り、感謝の気持ちをもったり、学校や地域のために今後自分ができそうなことをディスカッションしたりしました。

ゲストティーチャーとしてお迎えした地域の皆様は、本校の第一回卒業生、川クラブの代表、民生委員、青少協、学校医、の皆様方です。皆様は、学年に応じて貴重なお話をしてくださいました。60年前は、現在の五小の場所はひばりの鳴き声が響くのどかな牧場で、山羊などを飼育していたこと、その頃の落合川はとても汚れていて、地域の方の力で「平成の名水百選」に選ばれるほどのきれいな川になったこと、今や校庭の大木となった桜は、第一回の卒業生の方々が植樹したものであったこと、20年前にも谷川俊太郎さんが学校に来てくださったことがあり、当時の校長先生と談笑している写真を見せてくださるなど、子供たちが初めて知ったことも多く、子供たちは驚きながらも、興味深くお話を聞いていました。



お話を伺った後は、「五小のよいところ・地域のよいところ」「次の人達に伝えたい五小・東久留米について」「五小で受け継いでいきたいバトン」などをテーマに、各学年がゲストティーチャーの先生のお話に基づいて考え、互いにディスカッションをしました。

どの学年の子供たちも、「地域の豊かで素敵な自然を守っていきたい」ということが真っ先に出てきました。また、「60年前に植えた木が校庭に残っているということは、その頃の先輩の思いも

共に残っているということだから、大切に後輩にも受け継いでいきたい。」などの意見を伝えている子供もいました。

3校時に学級担任が行った道徳の授業と、4校時にゲストティーチャーの地域の皆様のお話が調和して、とても有意義な学びとなりました。創立60周年記念の最後の大きな活動として行った道徳授業地区公開講座。あらためて、「地域の皆様ありがとうございます。」との思いを、大人も子供ももつことができました。

ゲストティーチャーを引き受けてくださった地域の皆様に、深く感謝いたします。